

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「間質性肺炎合併肺癌患者の内科治療に関する後ろ向き研究」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：2012（平成24）年1月から2013（平成25）年12月
- 2) 受診科：呼吸器内科
- 3) 対象疾患名：肺癌，間質性肺炎
- 4) 使用する情報：診療情報等

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

**研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。**

**ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。**

- 1) 研究組織：所属：内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科  
研究代表者：職名 教授 氏名 星野 友昭  
研究分担者：職名 講師 氏名 岡本 昌樹  
職名 助教 氏名 松尾 規和

## 2) 研究の意義と目的：

間質性肺炎は徐々に肺活量が減少し呼吸困難をきたす慢性疾患ですが、しばしば原発性肺癌が合併します。間質性肺炎を合併しない肺癌患者さんと比較して、抗癌剤などの治療では使用禁忌（投与してはいけない）とされる薬剤もあります。手術後や抗癌剤治療、放射線療法中に間質性肺炎が急性増悪を起し、重篤な合併症になる場合があります。このように間質性肺炎に合併する肺癌の病状は複雑で、標準的治療がまだ確立しておらず、これを明らかにするためにこの研究を行います。

## 3) 研究の方法

間質性肺炎の患者さんを多数診療している全国の主要な施設と共同で、2012.1 から 2013.12 の期間に間質性肺炎合併肺癌と診断した患者さんの臨床データ（喫煙、血液データ、呼吸機能検査、実施された治療内容、その効果判定など）を収集分析します。

4) 研究期間：平成27年11月倫理委員会承認後～平成30年12月31日

5) 上記の情報の使用を選定した理由

当研究では過去の診療情報の情報のみを使用し、間質性肺炎を合併した肺がんの方の病態、治療を明らかにします。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について

当研究において個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。

7) 研究成果の発表の方法

研究結果は学会，論文により公表されます。

8) 利益相反

本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先

久留米大学内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門

松尾 規和

830-0011 久留米市旭町 67（住所）

電話番号：0942-35-3311(代表) FAX：0942-31-7703(代表)